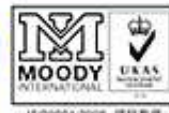


香りが伝わる、味が伝わる、心が伝わる—掛川茶

**中根製茶株式会社****@メールマガジン**  
Mail Magazine**No.26**

このメールは、弊社とお取引のあるお客様  
またお名刺交換させて頂いた方々に配信させて頂いております。

## 1.掛川茶市場初取引

**4/22 (火) 7:30~**  
**上場口数: 12口 (73.1kg)**  
**高値 41,880円**  
**安値 18,000円**  
**平均 24,022円**

# 「今年も良質茶を」

## 掛川茶市場で新茶初取引



**73.1キロが上場**  
 高値は「良い葉っぱ」キロ4万1880円に

掛川市のJA掛川市掛川茶市場で二十二日、新茶の初取引があり、十二工場から十二口、計七三・一キロが上場された。前日の降雨で上場数量は前年を下回ったが、高値は「良い葉っぱ」の語呂に合った。祝儀相場で「静岡の茶草場農法」が世界農業遺産に認定されたことや「和食」が世界無形文化遺産になったことを挙げた上、来年度の「掛川は昨年より上場数量が増え、大型連休中にピークを迎えるのではないか」と話していた。(佐野太郎)

取引前の式で、JA掛川市茶業部長は「今年も追いついてほしい」とあいさつした。

全国茶品評会で九年連続の産地賞に輝くなど、今年も追いついてほしいと、JA掛川市茶業部長は「今年も追いついてほしい」とあいさつした。

来年度の「掛川は昨年より上場数量が増え、大型連休中にピークを迎えるのではないか」と話していた。(佐野太郎)

4/22(火) 静岡新聞 朝刊



4/22に「掛川茶市場開き」行われました。

前日の雨もあり、上場口数は昨年より若干少ない12口でした。今年のお茶は天候に恵まれたいへん味も濃く、内質は例年の中ではかなり良いと思います。今後ゴールデンウィークにかけ、気温の上昇がありそうなので生産家には早め早めの摘採を呼びかけ、刈り遅れの無い良質な茶を仕入して参りたいと思います。

## 2.天皇杯受賞工場、中山茶業組合



4/24(木)に天皇杯受賞工場、中山茶業組合の手摘み状況を見て参りました。手摘み2日目になります。お茶摘みの方たちが方々で芽を摘み採っていました。ほとんどの方が毎年来て摘む方たちなので熟練した手さばきでどんどん摘み採っていきます。1日目は手摘みで生葉3トンも摘み採り、本日も同じくらいの量を採るそうです。摘み採られた茶葉はすぐに生葉コンテナへ運ばれ茶揉みを待ちます。



ここ中山茶業組合の茶畑は中山間地にあり、茶園は傾斜地が多く、またところどころに木が立ち並び、昼間の直射日光から茶葉を守ります。

最近では乗用型の摘採機で一気にハサミを入れることができ、また省力的でもある平地の圃場が好まれる傾向にあります。こういった畑は生産効率は上がったとしても、品質も向上するとは限りません。お茶造りの先人たちは、どこにお茶畑をつくればいいかをよく知っており、中山茶業組合のような昔からある中山間地の茶畑はまさに先人たちが選んで作った場所です。

通常、茶の樹は昼間溜めた栄養分を夜の間を使い成長するのですが、中山間地は昼夜の気温差が通常よりも大きく、夜の活動が弱まります。これにより茶の樹の中に成分が通常よりも多く残りおいしいお茶が出来上がるのです。

また、傾斜地であることや、茶畑の周りにある木々は昼間の直射日光を妨げるため、茶葉内のカテキンの生成が抑えられ、天然の甘みが味わえます。コーヒー栽培においても高級な豆をつくる農園では必ず「シェードツリー」と言われ、コーヒーの木に直射日光が当たらないよう背の高い木を植えており、まさに考え方は同じです。

今後はこのような茶園をピックアップし、品質によりこだわり、またそれらが一般の消費者まではっきりと伝わるようなものづくりをして参りたいと思いますので どうぞよろしくお願いいたします。



中根製茶株式会社  
〒436-0085  
静岡県掛川市成滝425-1  
TEL.0537-23-3252  
FAX.0537-24-0852  
E-mail:[motoomi@kakegawa-cha.co.jp](mailto:motoomi@kakegawa-cha.co.jp)  
<http://www.kakegawa-cha.co.jp/>

筆者 中根 基臣



### 〈メール配信停止について〉

メール配信につきまして今後ご希望でない方はお手数ですが下記のメールアドレスまで空メールをお願い致します。

[eiqyou@kakegawa-cha.co.jp](mailto:eiqyou@kakegawa-cha.co.jp)